

# 声 明

平成24年6月25日（月）

加茂市長 小池 清彦

**救命救急センター併設病院について、「加茂病院でないことは確かだ。」との発言は、事実無根の誤りです。**

救命救急センター併設病院については、本年2月15日の合同会議において、「県は、複数の案を検討し、次回合同会議に報告する。」ということになっております。

一方、加茂市では、区長会と市長を中心に加茂病院を併設病院としていただきたいとの署名運動を行い、加茂市民の95.96%に当たる28,560人が署名されました。現在、区長さん達と市長が署名簿と要望書を持って、泉田知事さんを訪問することを申し入れ、要望書と同文の文書もすでに知事さんにお渡ししており、知事さんからの訪問日時の御返答を待っているところであります。

他方、3日前の平成24年6月22日(金)午後、若月道秀福祉保健部長が栗山三衛医務薬事課長等を伴い、私のところにおいでになり、「今月26日に独立行政法人労働者健康福祉機構（燕労災病院を所管）と厚生連（三条総合病院を経営）に検討の協力をしてもらいたいと申し入れてよいか。」との相談を受けました。

そこで私は、「検討の段階でこの2つの組織に協力を依頼することが、加茂病院を『複数の案』の中に入れていないことになるということであれば、絶対に同意できない。」と申し上げました。

若月部長は、「そういうことではなく、加茂病院は県立病院だから、こんな申し入れをする必要はない。この2つの組織は、県以外の組織だから、このような申し入れが必要となる。加茂病院を除外するというだけでは全くない。」と明言されたので、私は、「加茂病院を除外しない。」との条件を付けて同意した次第であります。

また、泉田知事さんが区長さん達及び市長とお会いになって、署名簿と要望書を受け取られる前に「加茂病院は除外する。」ということをお決めになるとすれば、それは著しい背信行為であり、そのようなことはあり得ません。

さらに、県は、この2つの組織に今月26日にはじめて、検討の協力の申し入れを行うのであって、県の検討は、初期の段階にあり、「加茂病院を除外する。」という結論が今から出るはずもありません。

ところが、平成24年6月24日(日)付の三条新聞によれば、平成24年6月23日(土)に「加茂・田上地域の医療を発展させる会」の総会の席上で、佐藤邦義田上町長が救命救急センター併設病院について、「県から連絡があり、加茂病院でないことは確かだ。」と述べられたということでもあります。

しかしながら、これまでの経緯は以上のとおりでありますので、佐藤田上町長の「県から連絡があり、加茂病院でないことは確かだ。」との発言は、全く事実無根の誤りであります。

なお、三条新聞には、「小池清彦加茂市長は、三百床程度を視野に県立加茂病院を国道403号バイパス隣接地に移転して救命救急センター併設病院とする構想を示している。」とありますが、私は加茂病院について、「状況により三百床でもよいが、五百床が最良だ。土地はいくらでもさし上げる。」と常に言っているところでもあります。

先に申しましたとおり、加茂市民の95.96%に当たる28,560人が加茂病院を救命救急センターの併設病院にしたいと署名されました。田上町民の思いも同じであると思います。

このたびの署名では、加茂市民以外の方が3,316人も署名しておられ、その中に、田上町民が1,128人もおられるのであります。

加茂病院は、県立病院であって、併設病院として最もふさわしい病院であります。加茂市が提案している場所は、県央の中心部にあり、三条市に隣接している場所であります。加茂病院は建て替えの時期に来ており、地価も安く、土地は加茂市が無償でいくらでも提供するものであります。従って、格段に最も安く建設できるものであります。しかも、国道403号バイパスに直接接する交通至便の場所にあります。

このように加茂病院は、併設病院として最高の条件を備えており、加茂市民のみならず、田上町民の圧倒的多数が併設病院として望んでいる病院でありますので、佐藤田上町長におかれましても、加茂病院案を否定なさらず、強力に支持して下さいますよう、衷心よりお願い申し上げます。